

## 静岡県議会防衛議員連盟が沖縄地区を研修



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、5月9日（水）から11日（金）まで行われた、静岡県議会防衛議員連盟の沖縄地区研修に協力した。

これは、静岡県防衛議員連盟に所属する県議会議員が、南西、特に沖縄方面における国土防衛の現況を把握するとともに、在日米軍の現況と基地移設工事の状況を研修し、今後の県政の資を得ることを目的に行われたもので、陸上自衛隊那覇駐屯地、海上自衛隊那覇航空基地、勝連の沖縄基地隊、航空自衛隊那覇基地、恩納分屯基地及び米軍海兵隊キャンプ・ハンセンを訪れた。

参加した県議員15人は、各訪問先部隊の司令官等を表敬。各部隊から概況説明を受けるとともに、航空機や艦艇などの装備品を視察した。

特に、海兵隊キャンプ・ハンセンでは副司令官から直接概要説明を受け、海兵隊の訓練環境やキャンプ・ハンセンが果たす役割、テロ対策、災害対策などの取組みについて理解を深めた。

また、普天間飛行場の辺野古移転工事については、対岸のカヌチャリゾートにおいて沖縄防衛局から、市街地における飛行場の問題点や移設工事に関わる自然破壊等の問題の説明を受けた。

静岡地本は、県議会議員等の有識者に自衛隊の活動について正しく理解を深めてもらうため、今後も研修を支援し、防衛基盤の強化に努めていく。

## 防衛大学校オープンキャンパスで受験生が防大生と交流



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、5月13日（日）、防衛大学校（神奈川県横須賀市）で行われたオープンキャンパスに希望者を引率した。

防衛大学校のオープンキャンパスは毎年5月と7月に実施されており、今回静岡県からは来年度の入学を視野に入れている受験生や、我が子の防大進学を考えている保護者など37人が参加した。

参加者は、同校の概要説明や模擬授業、防大生が普段生活をしている学生舎の見学などを通して入学後の生活を体感したほか、防大生から受験のアドバイスを受けたり、防大生との懇談も行われた。また、陸上競技場においては、学生隊によるパレード訓練を見学することができた。

参加者からは「実際に防大の雰囲気を知ることができた」「防大生が気さくに対応してくれたので、質問し易かった」「行進訓練では、防大生の姿が凛々しくてかっこよかった」などの声が寄せられた。

静岡地本は、今後も自衛隊に興味のある若者に自衛隊の魅力を知ってもらうための支援を実施し、若者自身の夢を実現できる多くのキャリアコースが自衛官には準備されていることを伝え、入隊・入校意欲向上に繋がる取り組みを行っていく。